

SHIRAKOBATO

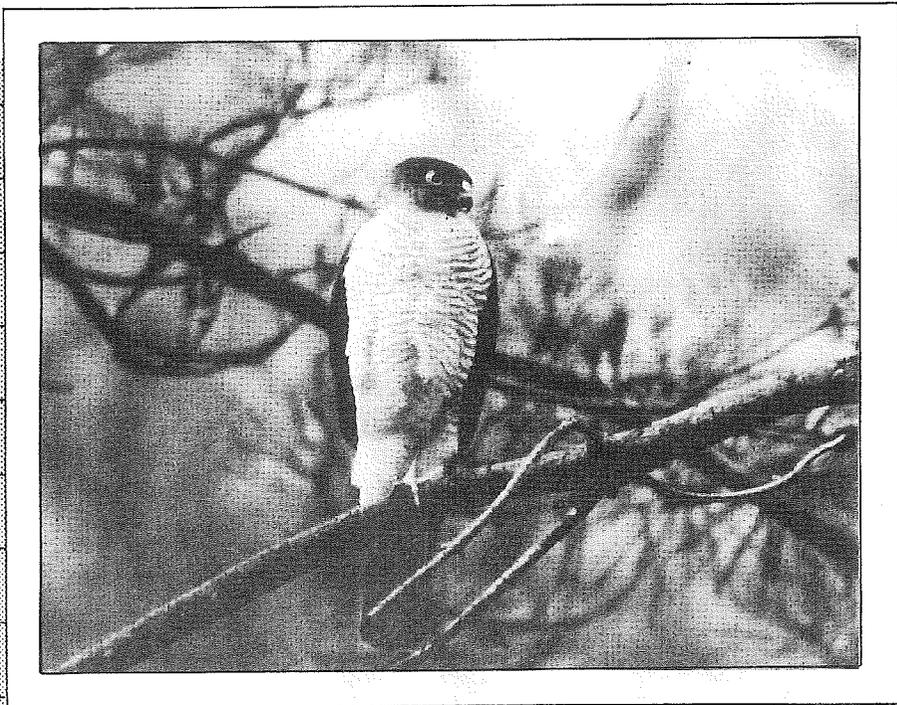
しらこぼと



1987. **6**

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.37

日本野鳥の会 埼玉県支部

浮島湿原

中島康夫（蓮田市）

霞ヶ浦の東南端に位置する浮島湿原は、新利根川河口に広がる低層湿原である。湿原はカモノハシ、ウンノシッペイ、アセスゲ、ノハナショウブなどが密生し、約60haの広大な草原になっている。

鳥好きには、コジュリンとオオヨシゴイが繁殖していることで知られ、四季を通じて百種以上の鳥を観察することが出来ます。

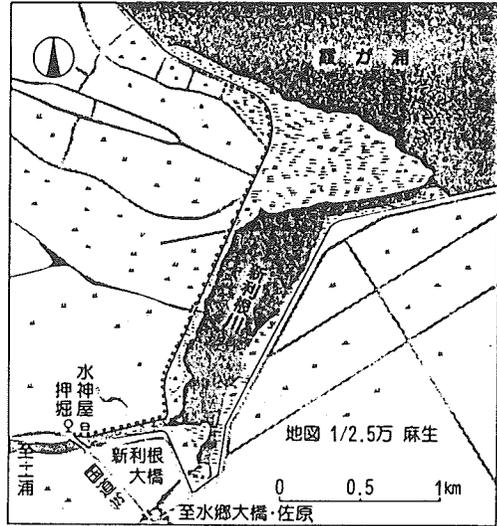
6月に浮島を訪ねると、広い草原にノハナショウブが咲き乱れ、アシの穂先では、黒い頭のコジュリンがすばらしい歌声をきかせてくれます。コヨシキリやオオヨシキリも負けじと歌い出します。

このコジュリンは40つがい以上が集団繁殖し関東地方で珍しい現象です。又、埼玉県内ではあまり見る事の出来ないオオヨシゴイも草原の上を低く飛び交い、草の中に降りて人の気配を感じると、首をのびし警戒している様子を見ることが出来ます。

他には、ヒクイナ、ヒメクイナなども根気よく探せば見ることが可能です。

春秋のシギ・チドリの渡りの時は周辺の水田に、ツルシギ、チュウシャクシギも渡来します。秋のショウドウツバメ、アマツバメの大群も見どころの一つです。

霞ヶ浦の春秋に、ハジロクロハラアジサシ、



クロハラアジサシのアジサシ類を探すのも楽しみです。

一度浮島へ行ってみようと思立った方は、
()の中島迄連絡して下さい。
色々と情報を提供致します。

交通

電車利用＝成田線佐原駅から江戸崎行きバス
40分、押堀下車、徒歩20分。

車利用＝大宮から国道16号→国道6号→国道408号→国道125号で約2時間30分。

会 員 制 度 の ご 案 内

正会員 『野鳥』誌と『しらこぼと』が届きます。年会費6,000円、入会金500円。

普通会員 『しらこぼと』だけが届きます。年会費2,500円、入会金500円。

家族会員 正会員、普通会員、支部賛助会員の家族。『野鳥』誌や『しらこぼと』は正会員等に届くものをごらんください。年会費500円、入会金500円。

支部賛助会員 正会員と同じですが、特に支部を援助していただきます。年会費14,000円、入会金500円。

ジュニア会員 支部独自の、中学生以下だけが入れる特典的制度です。『しらこぼと』

だけが届きます。年会費1,000円、入会金なし。（『野鳥』誌も読みたいときは正会員として入会してください。）

* * *

次の場合は会費切換え月の調整が必要です。直接本部入会係にご相談ください。

○今まで本部だけの会員で、埼玉県支部に新たに入会する（準会員が正会員になる）時

・年会費2,000円追加、入会金なし。

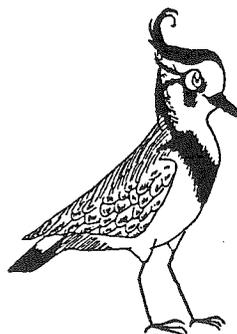
○今まで本部と他支部の会員で、埼玉県支部にも副支部として入会する時

・年会費2,500円追加、入会金なし。

1987年冬鳥分布調査

シギ・チドリ類、過去50年の越冬記録

—1987年冬鳥分布調査—



例年に無い暖冬であった1987年冬は、ヒガラが県南の雑木林で多数見られ、本庄市郊外利根川の阪東大橋でマガンの幼鳥2羽が越冬するなど一味違った鳥相を示しました。

1987年冬の県内野鳥分布調査は会員諸氏の御協力により表1の様に実施されました。ここに本調査の結果を報告致します。

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

本調査により地域別(表2)の種別生息状況(表3)が得られました。

シギ・チドリ類は1978年以降、県内で40種(日本野鳥の会埼玉県支部研究部1987)確認されていますが、その中で13種が越冬している事が本調査により判明致しました。1938年以降の越冬記録を合わせ、シギ・チドリ類の越冬状況を表4に示します。一般に旅鳥として扱われているシギ・チドリ類も県内各地で越冬している事がわかります。

表4 埼玉における過去50年間のシギ・チドリ類の越冬記録

地域	調査地	調査期間	タマシギ	コチドリ	イカルチドリ	シロチドリ	ムナグロ	ダイゼン	ケリ	タゲリ	ハマシギ	クサシギ	タカフシギ	イソシギ	ヤマシギ	タシギ	文献	
県南東	草越冬冬 加谷鳥島	1938～1942								○							(野口 1942,1943) (日本野鳥の会1982)	
		1979～1980	○		○					○								
		1986 1987		○	○					○	○			○				
県南中	見秋ヶヶ 沼瀬鳥島	1972～1983	○	○						○	○	○	○	○	○	○	(大島 1983) (松田 1984) (埼玉野鳥研1982)	
		1973～1984	○	○						○	○	○	○	○	○	○		
		1974～1981 1986 1987	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○		
県南西	狭山丘陵冬冬 鳥島	1965～1979		○	○	○		○		○		○		○	○	○	(荻野 1980)	
		1986 1987		○						○		○		○	○	○		
県央・東	庄冬冬 和鳥島	1983～1984	○						○	○						○	(吉岡 1984)	
		1986 1987		○	○	○			○	○	○			○	○	○		
県北	北冬冬 熊谷川本鳥島	1968～1977	○		○	○				○	○			○	○	○	(堀江 他 1978) (今井 1986)	
		1985～1986			○	○				○	○	○		○	○	○		
		1986 1987			○	○				○	○	○	○	○	○	○		
県西南	冬冬 鳥島	1986	○		○					○				○				
		1987			○									○				
県西北	冬冬 鳥島	1986	○		○									○				
		1987			○									○				

表1 調査概要

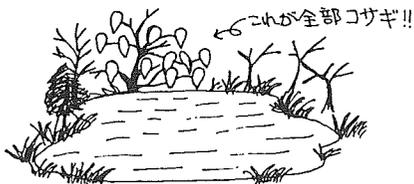
調査期間	1986年12月1日 ～1987年1月31日	
調査者	会員 70名	
調査内訳	調査はがき	29枚
	調査票	220枚
調査メッシュ	224メッシュ	



表2 埼玉県の地域区分

地域	地形区分	おもな都市名	備考
県南東	低地	草加、越谷	
県南中	台地 低地	川口、浦和 大宮、上尾	
県南西	台地 低地	所沢、川越	
県央・東	低地	鴻巣、久喜 加須、栗橋	
県北	台地 低地	熊谷、深谷 本庄	
県西南	丘陵	飯能、越生	1986年冬より 調査開始
県西北	丘陵	皆野、寄居	
秩父	山地	秩父山地	

注) 地域区分は1985年夏鳥調査、つまり本調査開始より同一である。



▲ 国道407を南松山駅へ行く途中、小さな沼があるのですが、ここに毎朝大量のコサギがとまわねています。花が咲いているようです。
同じ沼に、カイツブリらしき鳥が住んでいます。

表3 県内の地域別種別生息状況

種名	地域	'86年冬	県南	県南中	県南西	県央・東	県北	県西南	県西北	秩父
			カイツブリ	○	○	○	○	○	○	○
ハジロカイツブリ	○	○								
カンムリカイツブリ	○			○		○				
カワウ	○	○	○							
ゴイサギ	○	○	○			○	○	○		
ダイサギ	○	○	○	○	○	○				
チュウサギ				○	○					
コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
アオサギ	○	○	○	○	○	○				
マガン							○			
コブハクチョウ	○						○			
コハクチョウ	○			○			○			
オシドリ	○						○			○
マガモ	○	○	○	○	○	○	○			○
カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
コガモ	○	○	○	○	○	○				
トモエガモ	○			○	○	○				
ヨシガモ	○	○		○		○				
オカヨシガモ	○						○			
ヒドリガモ	○	○	○	○	○	○	○			○
アメリカヒドリ		○		○		○				
オナガガモ	○	○	○	○	○	○	○			○
ハシビロガモ	○	○	○	○	○	○				
ホシハジロ	○		○	○	○	○				
オオホシハジロ	○									
キンクロハジロ	○		○	○	○	○				
スズガモ	○			○		○				
ホオジロガモ	○			○		○				
ミコアイサ	○		○			○				
カワアイサ	○				○	○				
トビ	○	○				○	○			○
オジロワシ							○			
オオタカ	○					○	○	○		
ツミ	○									
ハイタカ	○									
ケアシノスリ	○									
ノスリ	○		○	○	○	○	○	○		
ハイイロチュウヒ							○	○		
チュウヒ							○	○		
ハヤブサ	○		○			○	○			
コチョウゲンボウ	○						○	○		
チョウゲンボウ	○	○	○			○	○	○		
ウズラ	○							○		
コジュケイ	○		○	○	○	○	○	○	○	○
キジ	○		○	○		○	○	○	○	○
クイナ	○		○			○				

地域 種名	'86 年 冬	県 南	県 南	県 南	県 央 ・ 東	県 西 北	県 西 南	県 西 北
バン	○	○	○	○		○	○	
タマシギ	○							
コチドリ	○	○	○		○			
イカルチドリ	○	○	○		○	○	○	○
シロチドリ	○		○		○	○		
ムナグロ	○		○					
ケリ	○		○					
タゲリ	○	○	○	○	○	○		
ハマシギ	○	○	○		○	○		
クサシギ	○		○	○		○	○	
タカブシギ	○		○			○		
イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○
ヤマシギ			○					
タンギ	○		○	○	○	○		
ユリカモメ	○	○	○	○	○	○		○
セグロカモメ	○	○	○		○		○	
ウミネコ	○	○						
シラコバト	○	○	○		○			
キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○
アオバト	○							
トラフズク	○		○					
コミミズク	○		○		○	○		
オオコノハズク					○			
フクロウ		○						
ヤマセミ	○						○	○
カワセミ	○		○	○		○	○	○
ヤツガシラ	○							
アリスイ	○				○			
アオゲラ	○		○	○	○		○	
アカゲラ	○		○	○		○	○	○
コゲラ	○		○	○	○	○	○	○
ヒバリ	○	○	○	○	○	○	○	○
イワミセキレイ	○							
キセキレイ	○		○	○	○	○	○	○
ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
セグロセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
ビンズイ	○		○	○		○	○	
タヒバリ	○	○	○	○	○	○		
ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
モズ	○	○	○	○	○	○	○	○
オオモズ	○							
キレンジャク						○		
ミノサザイ	○		○		○	○		
カヤクグリ	○							
ルリビタキ	○		○	○		○		
ジョウビタキ	○	○	○	○	○	○	○	○

地域 種名	'86 年 冬	県 南	県 南	県 南	県 央 ・ 東	県 西 北	県 西 南	県 西 北
イソヒヨドリ	○							
トラツグミ	○		○	○				○
アカハラ	○		○	○			○	
シロハラ	○		○	○			○	
ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○
ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	○
オオセッカ					○			
キクイタダキ	○		○	○		○	○	○
セッカ	○		○			○		
エナガ	○		○	○		○	○	○
コガラ	○		○			○		○
ヒガラ	○		○	○	○	○	○	○
ヤマガラ	○		○	○		○		○
シジュウカラ	○	○	○	○	南	○	○	○
ゴジュウカラ	○							○
メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
ホオジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
ホオアカ	○	○	○					○
カシラダカ	○	○	○	○	○	○	○	
ミヤマホオジロ	○		○	○				
アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○
クロジ	○		○					
オオジュリン	○		○		○	○		
アトリ	○		○	○		○		
カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
マヒワ	○		○	○				○
ハギマンコ	○							
イスカ	○							
ベニマンコ	○		○					
ウソ	○		○	○	○	○		
コイカル	○							
イカル	○		○				○	○
シメ	○	○	○	○	○	○	○	○
スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
ムクドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
カケス	○		○	○	○	○	○	○
オナガ	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンボソガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
ハンブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
ドバト	○	○	○	○	○	○	○	○
セキセイインコ	○		○	○				

(執筆 小荷田行男、カット 鈴木加代子)

野鳥情報

- カイツブリ ◇4月20日、浦和市の白幡沼で
巣作りを開始する(海老原美夫)。
- アオサギ ◇3月21日、浦和市秋ヶ瀬の羽根
倉橋上空を13羽(福井 亘)。
- ヨシガモ ◇4月11日、大宮市の深作調整池
で♂♀各1羽(中島康夫)。
- ノスリ ◇4月2日、浦和市秋ヶ瀬B地区で
1羽(石井 智)。
- サシバ ◇4月19日、北本市石戸宿で3羽
(榎本秀和、岡安征也)。◇4月25日、鴻
巣市大間で1羽(榎本みち子)。
- チョウゲンボウ ◇4月2日、浦和市秋ヶ瀬
C地区で1羽(石井 智)。◇4月23日、
大宮市天沼町の上空を1羽(浅沼源太郎)。
- ヤマドリ ◇3月26日、川越市新町の農家の
桑畑の中に♂♀各1羽。コジュケイ4羽と
いっしょに移動する(塚原恵子)。
- クイナ ◇4月15日、川口市差間で1羽(香
川裕之)。
- コチドリ ◇4月3日、幸手町上吉羽の中川
で4羽(秋間利夫)。◇4月12日、草加市
の毛長川で2羽(香川裕之)。
- シロチドリ ◇4月3日、幸手町上吉羽の中
川で4羽(秋間利夫)。◇4月12日、狭山
湖堤防付近の岸辺で1羽(須永達人)。
- ムナグロ ◇4月5日午後2時、浦和市秋ヶ
瀬の大久保農耕地で15羽(吉本富美子他8
名)。◇4月6日、幸手町上吉羽の中川で
7羽(秋間利夫)。◇4月11日、大宮市深
作調整池で12羽(中島康夫)。◇4月19日
午前9時、東浦和駅前大間木地区の見沼田
圃で3羽(為貞貞人)。
- ツルシギ ◇4月5日、大宮市の深作調整池
で1羽(中島康夫)。◇4月12日午前8時、
浦和市秋ヶ瀬の鴨川排水機場で3羽(福井
恒人他4名)。
- オオソリハシシギ ◇4月6日、本庄市の阪
東大橋下流で1羽(北川慎一)。
- ユリカモメ ◇4月8日、浦和市秋ヶ瀬の鴨
川排水機場で頭の黒くなった夏羽の個体1
羽(福井 亘)。◇4月15日、川口市差間
の芝川で夏羽4羽、中間羽5羽(香川裕之)。
- セグロカモメ ◇3月19日、浦和市の田島中
学校付近で6羽(福井 亘)。
- ウミネコ ◇3月19日、浦和市の田島中學校
付近で1羽(福井 亘)。
- コミミズク ◇4月9日、熊谷市の荒川大橋
下流の河川敷で2羽(山口輝雄)。
- アマツバメ ◇4月3日、熊谷市の荒川大橋
上空を3羽(山口輝雄)。◇4月7日、本
庄市の阪東大橋上空を14羽(北川慎一)。
◇4月12日、熊谷市大麻生から川本町明戸
にかけて100羽以上(今井明亘)。
- ツバメ ◇3月19日、浦和市秋ヶ瀬の水棲植
物園で3羽(福井 亘)。◇3月27日、幸
手町上吉羽の中川で3羽(秋間利夫)。
- コマドリ ◇4月18日、大滝村の秩父湖上流
でさえずる(原田秀雄)。
- トラツグミ ◇4月10日、大滝村の秩父湖上
流で鳴き声(原田秀雄)。
- アカハラ ◇4月15日、大宮市日進町で1羽
(森本國夫)。
- オオヨシキリ ◇4月19日、本庄市の阪東大
橋下流で(北川慎一)。◇4月22日、浦和
市の白幡沼でさえずる(海老原美夫)。◇
4月24日、富士見市の柳瀬川で1羽(藤原
寛治)。
- エゾムシクイ ◇4月25日、大宮市日進町で
1羽(森本國夫)。
- センダイムシクイ ◇4月21日、大宮市日進
町で1羽(森本國夫)。◇5月7日、熊谷
市の熊谷高校で1羽がさえずる(鈴木忠雄)。
- ホオアカ ◇3月25日、浦和市の田島中學校
付近で♂1羽(福井 亘)。
- アオジ(さえずり) ◇4月3日、浦和市岸
町の起志の天神社で(海老原美夫)。
- カシラダカ(さえずり) ◇3月10日、浦和
市太田窪の自宅近くで(近藤 崇)。
- アトリ ◇4月11日、鴻巣市大間の雑木林で
10羽(榎本秀和)。
- マヒワ ◇4月8日、浦和市秋ヶ瀬のピクニ
ックの森で3羽(福井 亘)。◇同日、熊
谷市の熊谷高校校庭にて(鈴木忠雄)。
- イカル ◇4月25日、大宮市日進町で1羽
(森本國夫)。



熊谷市・大麻生探鳥会

期日：6月14日（日）
 集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
 交通：高崎線大宮8：07（または8：15）発
 →熊谷8：53（または8：59）着、秩
 父鉄道乗換え9：04発→大麻生9：12
 着／東武東上線川越7：38発→森林
 公園乗継ぎ→寄居8：45着、秩父鉄道
 乗換え9：01発→大麻生9：19着

解散：午後1時ごろ

担当：鈴木忠雄、今井明巨

見どころ：初夏の水辺の鳥を楽しみたい方に
 おすすめします。コアジサシはダイビ
 ングをくり返し、オオヨシキリも元氣
 に怒鳴っています。そろそろパンヤカ
 ルガモの親子連れも見られるかも。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：6月21日（日）
 集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
 午前9時 浦和市立郷土博物館前

解散：午後1時ごろ

共催：浦和市立郷土博物館（参加費無料）

担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司

見どころ：小雨にけむる見沼たんぼも中々風
 情のあるながめです。心の故郷をそこ
 に見るような。カルガモ親子の行列、
 梅雨の晴れ間に響くカッコウの声など、
 鳥の方も心がなごむものばかり。安ら
 ぎを求めて三室へ。

息つく間もなく巣に餌を運ぶ親鳥達。親の
 後を一生懸命ついていく巣立ちびな。雨続き
 のいや～な季節ですが、鳥達に休みの日はあ
 りません。そんな彼女等に会いに、探鳥会へ。

持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、
 （もしあれば）双眼鏡などです。

参加費は、一般＝100円、会員及び中学生
 以下＝50円。予約申し込みは必要ありません。
 小雨決行です。

夢中になり過ぎて、鳥を驚かしたり、植物
 を荒らしたりなどしないように。いつもフ
 ィールドマナーをお忘れなく。

越谷市・増林地区探鳥会

期日：6月28日（日）

集合：午前9時30分 東武鉄道北越谷駅東口
 交通：武蔵野線南浦和9：02発→南越谷9：
 14着、東武伊勢崎線乗換え、新越谷9
 ：21発→北越谷9：26着／東武伊勢
 崎線春日部9：00発→北越谷9：17着

解散：午後1時ごろ

担当：山部直喜

見どころ：まだシラコバトを見たことがない
 という方、ぜひいらっしゃい。シラコ
 バトと言えば越谷、何たってキジバト
 より多いのですから。そんなに見ちゃ、
 一度で見あきてつままない？いえいえ、
 きっとまた見に行きたくなりますよ。
 （もう見た方ももちろんどうぞ。）

『しらこばと』袋づめの会

とき：6月27日（土） 午後1時～3時ごろ
 会場：浦和市立コミュニティーセンター2階
 第2和室（浦和駅西口から県庁通り
 西進、中山道左折約600m右側）

案内：『しらこばと』の袋づめ作業は会員の
 皆様の手で行なわれています。今月も
 情報交換などしながら気楽にどうぞ。



野鳥写真クラブ定例会

とき：6月27日(土) 午後3時ごろ～5時
会場：浦和市立コミュニティーセンター2階
第2和室(『しらこぼと』袋づめの会
と同じ)

案内：どなたも気軽に自由に御参加下さい。
できればあなたのスライドも持って。

三芳町・多福寺探鳥会

期日：7月5日(日)

集合：午前8時45分 東武鉄道上福岡駅西口
または午前9時30分 多福寺駐車場
交通：川越線大宮7：54発→川越8：13着、
東武東上線乗換え8：23発→上福岡8
：29着／武蔵野線南浦和8：11発→
北朝霞8：22着、東武東上線乗換え、
朝霞台8：29発→上福岡8：42着

解散：午後1時ごろ

担当：藤原寛治、福井恒人

見どころ：雑木林の初夏。青々と繁った木々
の間に、小鳥達の巢立ちびなの声が響
きます。葉と葉の間をよく探してみま
しょう。翼をたらし、体を震わせて親
鳥に餌をねだる甘えん坊の姿が見える
はず。元気で大きくなるんだよ、と声
をかけてみませんか。



探鳥会へ
どうぞ!!

(見出しイラスト＝鈴木加代子、カット＝鈴木加代子、鈴木高士)

坂戸市・高麗川探鳥会

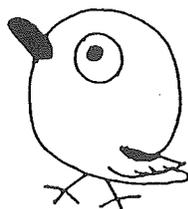
期日：7月11日(土)

集合：午前9時 東武鉄道川角駅前
交通：川越線大宮7：35発→川越7：54着、
東武東上線乗換え8：08発→坂戸8：
22着、東武越生線乗換え8：39発→川
角8：47着／東武東上線朝霞台7：
49発→坂戸8：22着、以下上に同じ

解散：午後2時ごろ

担当：中島康夫、楠見邦博

見どころ：梅雨明け間近、そろそろ河原遊び
の季節(I)。夏の日
差しに輝く水面をカワ
セミの光が走ります。
軍艦カイツブリはひな
をのせて航行中。一足
早い夏を見つけにおい
で下さい。



川本町・大麻生明戸探鳥会

期日：7月12日(日)

集合：午前9時30分 秩父鉄道明戸駅前
交通：秩父鉄道熊谷9：04発→明戸9：16着
／秩父鉄道寄居9：01発→明戸9：
15着

解散：午後1時ごろ

担当：鈴木忠雄、今井明巨

見どころ：梅雨明け間近、そろそろ河原遊び
の季節(II)。川面に映えるカワセミ
のブルーは一服の清涼剤。ササゴイの
魚釣りは今年も見られるかな。水鳥の
親子連れは今月も楽しめます。なお夏
の間は大麻生の隣の明戸で行ないます。

【表紙の写真】

ツミ(ワシタカ科)

もし、あなたのお好きなタカは?と、問わ
れたら、チョウゲンボウと答えて、その次に
来るのがツミです。

最近は都会近くのちょっとした雑木林でも

見かけるようになりました。今までハトカー
と思っていたのも、案外ツミだったかもしれ
ませんよ。(写真と文・平野伸明)

行事報告

3月28日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 浅沼源太郎、井上雅雄、岩波勇一、榎本秀和、榎本みち子、海老原教子、海老原美夫、北川慎一、佐藤昌人、奈良部登喜枝、福井 亘、宮内武昭、森本國夫、吉田二三子、以上14人。御苦労さまでした。

ばらしい飛行を披露してくれた。また、マヒワの群れを間近でじっくり見られ、レンガメの美しいニュウナイスズメも支部の県内探鳥会で初めて観察されるなど、収穫の多い一日であった。

4月5日(日) 浦和市 秋ヶ瀬

人 82人 **天気** 晴 **鳥** コサギ カルガモ コガモ タカSP コジュケイ キジ ヤマシギ タシギ ユリカモメ シラコバト キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(31種)すばらしい天気恵まれ、秋ヶ瀬は人の波。みんなは花見、こちらは鳥見。東京や神奈川などからはるばる来てくれた人もいたが、レンジャクは空振りに終わって残念だった。代わりに県内探鳥会初登場のヤマシギが頭上を飛行した。



え、あれが、そう、あれがニュウナイスズメ (4月12日、熊谷市大麻生)

4月12日(日) 熊谷市 大麻生

人 45人 **天気** 曇後晴 **鳥** カイツブリ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ トビ コジュケイ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ コアジサシ キジバト ヒメアマツバメ アマツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ シメ ニュウナイスズメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス(41種)旅するアマツバメとヒメアマツバメの群れが上空です

4月19日(日) 浦和市 三室地区

人 69人 **天気** 晴 **鳥** コサギ カルガモ コガモ ハイタカ コジュケイ コチドリ ハマシギ タカブシギ イソシギ タシギ ユリカモメ キジバト コゲラ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種)初夏のような陽気の中、黒頭巾をしたユリカモメが北への旅立ちを前にして、別れを惜しむかのように姿を見せた。雑木林では、巣穴から顔をのぞかせたコゲラが人気を独り占め、負けるものかとシメも三室でこの春最後の晴れ姿を見せた。

4月25日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

がんばってくれた人 浅沼源太郎、岩波勇一、

榎本秀和、榎本みち子、海老原教子、海老原美夫、加藤均、金井祐二、木村義人、草間和子、楠見文子、小林芳江、諏訪隆久、手塚正義、登坂久雄、藤野富代、森本國夫、吉田二三子、吉本富美子、以上19人。今回は同封するものが多くて時間がかかると思っていたが、たくさんの方々に来ていただき、仕事がどんどん片付いた。今後ともよろしく。

4月25日(土) 写真クラブ定例会

作品発表した人 海老原美夫、金井祐二、登坂久雄、吉本富美子 以上4人。



スズメ(吉本富美子)

4月26日(日) 北本市 石戸宿

人 44人 天気 曇 鳥 ツミ サンバ コジュケイ キジ コチドリ タシギ キジバト アマツバメ ヒバリ ツバメ イワツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒョドリ モズ ツグミ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハンボソガラス ハシブトガラス(26種)お天気はそれほど良くなかったけれど、開始早々からサンバが3羽現われて上々の滑り出し。サンコウチョウは出なかったが、ツミが2羽姿を現わし、全員夢中。後ろ髪を引かれる思いで歩き始めた皆の耳に、林を通して鳴き声が届いた。

病院建設に伴う工事で環境が激変しているのを目の当りにして、すばらしかった石戸宿からどれだけの生き物が消えてしまうのかと心が痛んだ。無残に切り開かれてしまったサンコウチョウの林では、今年は彼らの姿が見られるのだろうか。鳥合わせの時に上空を舞

った3羽のサンバ達よ、来年も姿を見せてくれるのか。



ツミがいる、わあよく見える
(4月26日、北本市石戸宿)

4月29日(水、祝) シギ・チドリ調査

参加者=今井明巨、海老原美夫、榎本秀和、香川裕之、金井祐二、北川慎一、草間和子、鈴木忠雄、登坂久雄、萩原正二、福井恒人、福井 亘、森本國夫 以上13人。

好天に恵まれたこの日、本庄市の阪東大橋付近の利根川、熊谷市大麻生付近の荒川、浦和市から大宮市にかけての荒川河川敷(通称秋ヶ瀬地区)にある水田等の3ヶ所で調査が行われた。結果は研究部で取りまとめられ、後日『しらこぼと』に発表される。調査に参加された皆さん御苦労さまでした。

参加者の声

うめくさの巻

森本國夫(大宮市)

原稿の手当てがつかず、このページの担当者自ら書くはめになったのであります。

先日のシギ・チ調査の時、Eさんから当然二次会の話が出た。こちらも嫌いでないから、フクロウさんに会いに行くことに即決定。秋ヶ瀬地区を調査した全員で、車と単車に分乗して某所へ。フクロウさんの目のあたりから上が見えた。出るまで待つのも大変だから今度は某所へと移動して、河原に座り込んでヤマセミとカワセミをじっくり見てしまった。

あなたも調査に参加しませんか。いいこともありますよ。



第3回総会のお知らせ

第3回総会をつぎのとおり開催します。

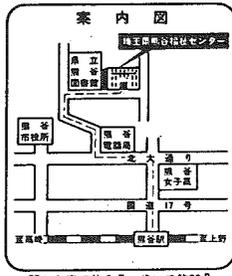
場所・埼玉県熊谷福祉センター（熊谷市箱田5-6-2 ☎0485-21-5421）

日時・昭和62年6月7日（日）午後1時受付開始

午後1時30分～2時30分 記念講演「思いつくままに鳥の話」
森下 強 本部企画事業部長
午後2時30分～4時30分 総会
午後5時～7時 懇親会

議題・支部規約改正について（会員制度、役員条項）、昭和61年度事業報告および決算について、昭和62年度事業計画および予算について、役員を選出について。

懇親会費用は、4,000円ご用意ください。



駅から車で約5分、歩いて約20分

札幌支部『カッコウ・キャンペーン』

札幌支部では今年も「Hello! カッコウ・キャンペーン」（6回目）を行ないます。

5月1日から6月15日までの期間、カッコウの初鳴きの記録をハガキで札幌支部までお送りください。

送り先・〒060 札幌市北区北9条西4丁目川口ビル2階 野生生物情報センター内
日本野鳥の会札幌支部

記載要領・日時、天候、風の強弱、観察地の

住所と環境（林、畑、住宅地など）、目撃か声のみか、観察者の住所氏名。

会員数は

5月20日現在709人です。

活動報告

- 4月7日 浦和市立郷土博物館にて新年度共催行事について打ち合わせ。
- 4月12日 総務部会議、普及部会議、役員会議（総会について、次期役員、9月までの行事予定、新年度共催行事、バードソン、その他）
- 4月14日 鳩山町中央公民館と狭山市立中央児童館に新年度行事につき連絡。
- 4月20日 N T T本社広報部とバードソンにつき打ち合わせ。（28日も）
- 4月27日 『しらこぼと』5月号発送。
- 4月30日 N T T埼玉支社、野鳥の声テレフォンサービスカード持参。



最近の探鳥会への参加者の傾向として、中高年者の参加が大変に多くなり、同じ世代の私は心強く思っています。老後（失礼かな）の大きな生きがいとして、バードウォッチングは素晴らしい楽しみのひとつです。それは健康と多くの友人を得られるからです。一人でも多くの方の参加をお待ちしています。

（中島康夫）

題字『しらこぼと』：日本野鳥の会会長・山下静一

（イラスト風見出し・鷹尾正済）

『しらこぼと』

1987年6月号（第37号）

頒価100円（会費に含まれます）

発行人 今井昌彦

発行所 日本野鳥の会埼玉県支部

発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号

電話 0488(32)4062

郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990

印刷所 望月印刷株式会社

（無断転載を禁じます）